

スタッフ紹介



診療放射線技師
長野 寛史

関愛会に入社して4年目になる診療放射線技師の長野です。地元は野津町ですが、その隣町である三重町も地元に近い存在です。実家から近いこともあります。もともと三重東クリニックは私のかかりつけのクリニックでした。そのため、今こうして働かせていただけることを感慨深く思います。また三重東クリニックは野津町の患者様も多く、親交のある方々に再会し、仕事中ですが思い出に浸ることがあります。私にとってやりがいを感じるときであり、生まれ育った場所でお世話になつた方々と働けることが何よりも嬉しいです。三重東クリニックの職員さん並びに地元の方々にお世話になつた分、その恩返しができるように診療放射線技師としての技能・知識の向上を図り、地域を支える人材になれるよう努めてまいります。

会医療法人 関愛会
重車クリニック

広報誌 2024 春 号

今回は「三重県立ハビリテーションセンターのみの木」の特集です。4月1日(日)オープンしました。全員で力を合わせがんばっていきましょうで、よのいの原へつづき

社して4年目になる診療放射線技
地元は野津町ですが、その隣町で
地元に近い存在です。実家から近い
ともと三重東クリニックは私のかか
ツクでした。そのため、今こうして働
りることを感慨深く思います。また
クは野津町の患者様も多く、親交
母会し、仕事中ですが思い出に浸る
。私にとつてやりがいを感じるとき
育った場所でお世話になつた方々と
何よりも嬉しいです。三重東クリニック
の職員さん並びに地元の方々に
お世話になつた分、その恩返しが
できるように診療放射線技師と
しての技能・知識の向上を図り、
地域を支える人材になれるよう
に努めています。

A small, fluffy, calico kitten lying on a white surface, looking towards the camera. The kitten has white fur with dark brown and black spots. The background is slightly blurred, showing some red and green objects.

「只身」とか「知る者は富む」（語み・たることをしるモノはトめり）は、老子の言葉ですが、存じでしようか。『満足をすることを知っている人は、本当の意味で幸福な人である』という意味だそうです。

物質的な豊かさではなく、精神的な豊かさの大切さを語った言葉です。自分が持っているものを大切にし、その状態に満足することで、毎日が明るく幸せなものになるということです。

日々生きていると、さまざまな場面で嫉妬や羨望を感じることがあります。「あの人は何でも持っていて羨ましい…」「自分は一生懸命していてもさっぱりだ…」、そんなふうに感じてしまい落ち込んでしまいますね。これは、他人と比較するからこそ生まれてくるネガティブな感情です。そのネガティブな感情をエネルギーに変換すればよいのですが、実際他人と比較することは止められないものです。

そんなときは、自分が持っているものに注意を向け、その一つ一つに感謝をしてみてはいかでしようか。『今ある幸せ』に気づくことができると、自然に感謝の気持ちが湧いてきます。『足ることを知る』ことからすべてが始まるような気がします。

事務長 後藤 稔



広報誌『ひがしの空から』

発行：社会医療法人 関愛会 三重東クリニック
〒879-7104 大分県豊後大野市三重町小坂4109-61
Tel.0974-22-6333 Fax.0974-22-6341



編集後記



CONTENTS

はじめまして、

二重東もみの木です

副

スタッフ紹介

副院長

別府
幹庸

編集後記



三重東もみの木オーブン

令和6年4月1日、清川町で約13年間運営していました「きよかわもみの木」が三重町に移転し「三重東リハビリテーションセンターもみの木」として開設しました。

「三重東もみの木」は、介護保険の認定を受けた方が利用できる介護保険サービスの一つです。「自宅などから事業所へ通っていたとき、パワーリハビリやレッドコード、リハビリ専門職による個別指導などのリハビリや介護支援を受ける事ができる事業所です。

主なリハビリ機器は、「パワーリハビリ」です。「座る・立つ・歩く」という3つの基本的な日常動作に必要な筋肉(動かさないことで、動かなくなつた筋肉)を徐々に無理なく動かす事を目的としています。パワーリハビリのポイントは、「軽い負荷」にあります。マシンントレーニングが心臓に与える負担は、入浴よりも少し軽い程度にとどまります。



コロナ禍明け、そして、小児科予約システムの変更

2019年12月に中国・武漢にて始まったSARS-CoV-2(新型コロナウイルス)の世界的大流行で、3年ほど大変な毎日でした。2023年5月8日から日本での感染症法での取り扱いが第2類から第5類へ分類変更となり、ほぼコロナ禍は終わったものと思われます。

この新型コロナウイルスは非常に感染力が高く、空気感染に近い感染様式を示しましたので、感染対策には非常に気を使いました。小児科では当初、感染予防のため駐車場での診療をはじめました。車にのったままの診療です。最初は、建物の中の診察室から車に行き診療していました。そこは、新型コロナウイルスのPCR検査も抗原検査も院内ではできず、検査が必要な場合は保健所を通じて密閉した容器で検体を検査センターに運び半日して結果が返ってきていました。

そのうちに、院内での核酸検出検査ができるようになり導入しましたが、診療のために駐車場の片隅にプレハブを建てて検査などを行いました。株の変化とともに感染は急拡大し、かなりの数の検査が必要でしたが、限られたスタッフでこなしているため診療できませんでした。30分で4名という枠で

行いましたが、検査や感染対策のため1件あたりの時間が大幅に伸びて時間内に終わらないこともしばしばでした。

その後、2023年2月16日からは、建物の中、小児科待合室の一部を改装し3つの隔離診察室を作り感染症診療を始めました。そしてしばらくは時間枠で30分に4名の診療で何とか皆様のご要望に応じることができていました。しかし、2023年5月第5類に分類変更があつてからは、それまで「鳴りを潜めていた」インフルエンザやアデノ、ヒトメタニユーモなどのあらゆるウイルスが流行し、感染症の患児が急増し予約枠が埋まってしまい、連絡をいただいても診察することができない(予約をお受けできない)事例が頻発しました。

当然、このままの状況を放置できませんでしたので、時間枠内での予約できる数を増やしたりしましたが、抜本的には改善できず、もとの順番制での予約システムに戻すことを決定しました。

しかし、ここで問題が発生しました。順番制では予約の時間が設定されないまま順番制に移行することが非常に難しかったのです。お知らせするメールアドレスを設定していない患者さんが増えていて、その時に、それまで順番制で診ていた小児科診療を、時間枠制にせざるを得ませんでした。30分で4名という枠で

小児科 別府幹庸



しい」ということがわかつたのです。そこで、予約システムの業者に相談しました。今は皆様、連絡用のツールとしてLINEを使用している方々が増えています。そこで、「診療のお知らせをする手段として、LINEとメールを併用しあわせに補完するようにして順番制に戻すことになりました。小児科を最近受診された患者さんはもうお気づきと思いますが、予約する際には、①3日間以内の発熱、②インフルエンザ、コロナ患者との接触、③新型コロナ、インフルエンザの検査希望をお尋ねしています。これは、隔離診察室での診療にするか?どうかを決める項目になります。一つでも「はい」があれば、隔離診察室にて診療するようになります。また、連絡用の携帯番号とお車の情報をいれていただくのは、いらっしゃった際に確実に連絡をとるためのものです。以上の情報を入力していただくことで、確認するための時間が省かれ、診療に割く時間を増やすことができます。多少、面倒をおかけしますが、入力していただければ幸いです。

そして、システムを大幅に変えるのであれば、患者さん方の利便性を改善したいとの思いから、予防接種予約においても母子手帳の接種歴を入力していただければ、次にどの予防接種を予約できるのか?いつまでに接種しないとい

たといふことがあります。スマート診察券という機能で撮っておくことで、スマホに診察券を表示することができます。感染症でない通常の診察の際には、このスマート診察券を読み取り装置にかざすことできます。「スマート診察券」という機能ですが、これを登録しスクリーンショットで撮っておくことで、スマホに診察券を表示することができます。感染症でない通常の診察の際には、このスマート診察券を読み取り装置にかざすことできます。まだまだ、システムを変更して日が浅いです。いろいろな問題が生じる可能性はありますが、一つ一つ丁寧に問題をクリアして、なるべく多く患者さんに気持ちよく小児科を受診していただこう努力していきます。



用いただき、移転後も引き続きご利用いたしました。

ただ、「利用者様より」「もみの木が出来て12年頑張って通つていましたが、閉じるという事はさみしいです。今まで人生の先輩方と従業員の皆様といろいろお話をできたり、お世話をなつたり、大変うれしく感謝の気持ちでいっぱいです。今後は新しい木同様にお願いします」とお言葉をいただきました。「ご利用いただきご利用者様と一緒に収穫まで、ご利用者様と一緒に組みた」と思いました。毎月ブログに取り組み内容などを掲載していますので、合わせてご覧ください。

昨年行われた起工式では、当法人の増永理事長より「やつてみたい事にチャレンジする」という自立支援を目的とした「もみの木ブランド」を持つています。新たに三重町の地で、このミッショングを実現できるよう、「もみの木ブランド」を作りあげて、広めていきたいと思います」と挨拶がありました。

さらに、「もみの木ではいろいろな事にチャレンジしていただきたいと考えて、ご利用者様の計画などに基づいて、様々な事に取り組んでいただきたいと考えています。その一つとして日替わりで園芸・木工・習字などの「活動プログラム」に取り組んでいます。

永理事長より「もみの木は『できる事をする』という自立支援を目的とした「もみの木ブランド」を持つています。新たに三重町の地で、このミッショングを実現できるよう、「もみの木ブランド」を作りあげて、広めていきたいと思います」と挨拶がありました。

もみの木では「生き生きチャレンジ」として、「ご利用者様の目標に沿つて、ご利用者様の「○○をしてみたい」に取り組んでいただけるよう、もみの木内でのリハビリだけでなく医師・作業療法士・介護福祉士・看護師などの専門職チームで、ご利用者様のできる事や能力を評価して、できる事はもみの木内でも行つてもらい、過度な介助はせずに「自立支援」を念頭に置いた支援を行つています。

最後に現在きよかわもみの木をご利

用いただき、移転後も引き続きご利用いたしました。

ただ、「利用者様より」「もみの木が出来て12年頑張って通つていましたが、閉じるという事はさみしいです。今まで人生の先輩方と従業員の皆様といろいろお話をできたり、お世話をなつたり、大変うれしく感謝の気持ちでいっぱいです。今後は新しい木同様にお願いします」とお言葉をいただきました。「ご利用いただきご利用者様と一緒に収穫まで、ご利用者様と一緒に組みた」と思いました。毎月ブログに取り組み内容などを掲載していますので、合わせてご覧ください。

昨年行われた起工式では、当法人の増永理事長より「やつてみたい事にチャレンジする」という自立支援を目的とした「もみの木ブランド」を持つています。新たに三重町の地で、このミッショングを実現できるよう、「もみの木ブランド」を作りあげて、広めていきたいと思います」と挨拶がありました。

さらに、「もみの木ではいろいろな事にチャレンジしていただきたいと考えて、ご利用者様の計画などに基づいて、様々な事に取り組んでいただきたいと考えています。その一つとして日替わりで園芸・木工・習字などの「活動プログラム」に取り組んでいます。

永理事長より「もみの木は『できる事をする』という自立支援を目的とした「もみの木ブランド」を持つています。新たに三重町の地で、このミッショングを実現できるよう、「もみの木ブランド」を作りあげて、広めていきたいと思います」と挨拶がありました。

もみの木では「生き生きチャレンジ」として、「ご利用者様の目標に沿つて、ご利用者様の「○○をしてみたい」に取り組んでいただけるよう、もみの木内でのリハビリだけでなく医師・作業療法士・介護福祉士・看護師などの専門職チームで、ご利用者様のできる事や能力を評価して、できる事はもみの木内でも行つてもらい、過度な介助はせずに「自立支援」を念頭に置いた支援を行つています。

最後に現在きよかわもみの木をご利用いただき、移転後も引き続きご利用いたしました。

ただ、「利用者様より」「もみの木が出来て12年頑張って通つていましたが、閉じるという事はさみしいです。今まで人生の先輩方と従業員の皆様といろいろお話をできたり、お世話をなつたり、大変うれしく感謝の気持ちでいっぱいです。今後は新しい木同様にお願いします」とお言葉をいただきました。「ご利用いただきご利用者様と一緒に収穫まで、ご利用者様と一緒に組みた」と思いました。毎月ブログに取り組み内容などを掲載していますので、合わせてご覧ください。

昨年行われた起工式では、当法人の増永理事長より「やつてみたい事にチャレンジする」という自立支援を目的